

文化芸術に携わる方々にお話を伺い、掛川市の文化振興のヒントをいただくこのシリーズ。

第31回目は、掛川市内外で「面白いこと」を発見する天才、「みよちゃん」こと、山崎美代子さんに、落語についてお話を伺いました。

ぶらりびと

笑ったり、泣いたりを表現できる落語は究極の一人芝居です！



掛川市社会教育員
アスカテクノ(株)
メンタル研修事業部長
山崎美代子さん

■「面白いこと」を発見する天才の山崎さん。今度は落語の斬家に挑戦したのだから。実際に落語を演じてみていかがでしたか？

一番の感想は「よかった！できた！なんとなかった！」でした(笑)。今回、演劇のご縁で落語をやると決まったものの、さて何をどうしたらいいかさっぱり分かりませんでした。焦る気持ちばかりで時間が過ぎ、本番二週間前の身内のお披露目では案の定しどろもどろ・・・もともと人前で話す仕事をしている私ですが、ストーリーをなぞりながら、自分とは違う人物を何役も演じる難しさは想像以上でした。でもこのままでは楽しみに来てくださったお客様に申し訳ない、本気で臨まないと絶対後悔する！と気持ちを入れ直し、そこから演目を『猫の皿』に変更、キャラクターを自分なりにアレンジし、演劇『静岡茶航海記』(2月28日公演。詳細はP6へ)の宣伝も入れ



「猫の皿」を演じる「みよちゃん」

ながら本番の日を迎えました。猫好きな私が猫嫌いな男性の役をやる、とてもいい経験ができました。(動画観てください！)

■落語の楽しみ方とは？

笑ったり、泣いたりを表現できる落語は究極の一人芝居。道具もたいして使わず、一人で何役もこなします。いわゆる古典落語と言われるものは江戸時代から多くの人々が演じてきています。でもだいたいのあらすじが決まっているだけでセリフや言い回し、時代背景やキャラクターも人それぞれ違います。音楽で言うならメロディーはあるけどアレンジやテンポを変えて、アドリブ入れて自由に演奏していいよ！あなたの持ち味出してね♪♪感じて。だから同じ演目でも魅せ方も聴かせ方も人によって全然違う。自分の好きな斬家さんを探すのもいいですね。そしてテレビやYouTubeもいいけど、やっぱり生で聴くとエネルギー感が全然違います！それも音楽や演劇と通じるところがありますね。また落語をたしなむとコミュニケーション能力が上がると言われてます。人との会話を楽しむのにも、まずは落語を聴くところから。とつてもオススメですよ！

■演じたからこそ、よりいっそう落語が大好きになったという山崎さん。掛川市のみなさんへお伝えしたいことは？

生まれも育ちも大阪の私。20年前に掛川へ嫁いできました。だいぶ遠州弁とミックスされてきましたが一応大阪弁ネイティブ(笑)ま、せっかく大阪弁が話せるのだから上方落語のひとつでも話せたら面白いかも♪という軽い気持ちと、実は大学時代に応援団が落研に入るかで迷ったことがあり、落語はいつかやってみよう、憧れみたいなものも少しあったのです。人生は思い出づくりだと思っています。面白そう！やってみよう！と思ったことはとりあえずチャレンジしてみよう。やってみると結構なんとなかったりします。皆さんも何かやってみよう！とありませんか？自分を楽しませるのも大事な自分メンテナンス。人生、生涯学習ですよ！レッツ！チャレンジ♪

■いつもキラキラした笑顔でお話をしてくれる山崎さん。素敵なメッセージをありがとうございます。次は演劇(『静岡茶航海記』※詳細はP6へ)に挑戦するそうです。山崎さんのチャレンジはまだ続きます！

プロフィール

大阪府堺市出身。掛川市在住。
アンガーマネジメント・アドラー心理学・メンタルコーチ・コミュニケーション講師
第9回全国講師オンラインフアンナリスト
掛川市桜木地区まちづくり協議会副会長
趣味・歌・トロンボーン・演劇など。猫好き♡



令和2年(2020)11月22日(日)に開催された、蕎麦と落語と古民家の会にて披露された、劇団静岡県史のみよちゃん(山崎美代子)の「猫の皿」です。
YouTubeで視聴可能です。
QRコード

